2025年2月期 第2四半期 決算説明資料

2024年10月15日

ローツェ株式会社

証券コード:6323

https://www.rorze.com/ir



注意事項

◆ 将来見通しに関する記述について

本資料に記載されている業績予想、将来予測などは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性、 完全性を保証したり、約束したりするものではありません。また、経済動向や業界における競争、市場、諸制度等の変化により大きく 見通しが変動する可能性があり、今後予告なく変更されることがあります。

◆ 本資料における表示方法について

数 値: 単位未満を切り捨て

比 率: 1円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入

会計年度: 年度開始日の暦年表記 (「2025年2月期」を「FY2024」または「FY'24」と表記)

会計期間: 連結・当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	Q1 (第1四半期)	Q2 (第2四半期)	Q3 (第3四半期)	Q4 (第4四半期)	通期
連結・当社・国内子会社	3月~5月	6月~8月	9月~11月	12月~翌年2月	3月~翌年2月
海外子会社	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~12月

会社概要

会 社 名 ローツェ株式会社(英文名; RORZE CORPORATION)

上場市場 東京証券取引所プライム市場(証券コード:6323)

所 在 地 広島県福山市神辺町

設 立 1985年3月30日

資 本 金 982百万円

事 業内容 半導体・フラットパネルディスプレイ (FPD)・ライフ

サイエンス関連の自動化・搬送装置の開発・製造・販売

従業員数 連結: 4,121名 当社: 242名 (2024年8月末現在)

事 業 拠 点 国内: 福山・横浜・熊本・つくば・日野

海外: 米国・ベトナム・台湾・韓国・シンガポール・

中国・ドイツ

従業員数の推移(連結)



グローバルネットワーク



- 開発・生産・営業・サポート
- 営業・サポート
- 開発・生産
- サポート



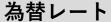


2025年2月期(第40期) 第2四半期(2024年3月~2024年8月) 連結業績

業績ハイライト

■ 半導体関連装置およびFPD関連装置の売上増、円安による為替差益もあり増収増益



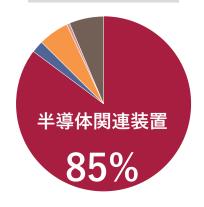


(円/USD)

FY'24	FY'24	FY'24
期初予想	H1実績	H2予想
144	152	144

[※] 当期より業績予想および実績は期中平均 レートを使用

売上構成比



四半期売上高

	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
(百万円)	FY'23			FY'24	
■部品・修理 他 ※	1,582	1,490	1,638	1,705	2,122
■ライフサイエンス関連装置	52	148	919	152	181
■FPD関連装置	1,368	846	1,152	262	3,130
■分析装置	805	849	742	331	1,030
■半導体関連装置	20,489	20,836	23,632	26,836	24,475

※ 当期より「モータ制御機器」は「部品・修理他」に含めて集計しております。

エンド

ユーザー

26%

74%

2025年2月期第2四半期連結業績

■ 半導体関連装置やFPD関連装置など売上高は堅調、為替差益もあり増益確保

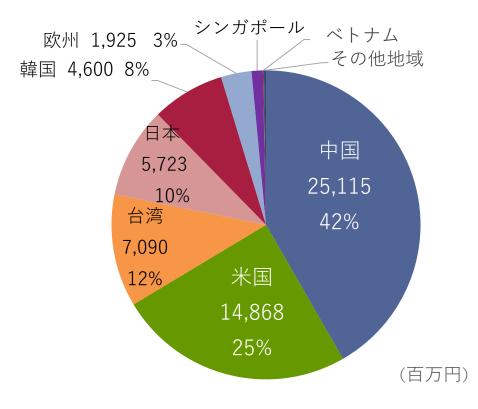
(百万円)

	FY'24 Q2 実績	FY'23 Q2 (前年同期)	前年同期比 (%)	FY'24 Q2 業績予想	FY'24 Q2 進捗率(%)
売上高	60,229	40,992	146.9	61,474	98.0
半導体関連装置	51,311	34,477	148.8	52,099	98.5
分析装置	1,362	1,521	89.6	2,373	57.4
FPD関連装置	3,392	1,715	197.8	3,348	101.3
ライフサイエンス関連装置	334	152	218.7	311	107.4
※ 部品・修理 他	3,828	3,126	122.4	3,342	114.5
営業利益	17,146	9,952	172.3	17,298	99.1
経常利益	20,574	13,878	148.3	17,300	118.9
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	15,850	9,835	161.2	12,604	125.8

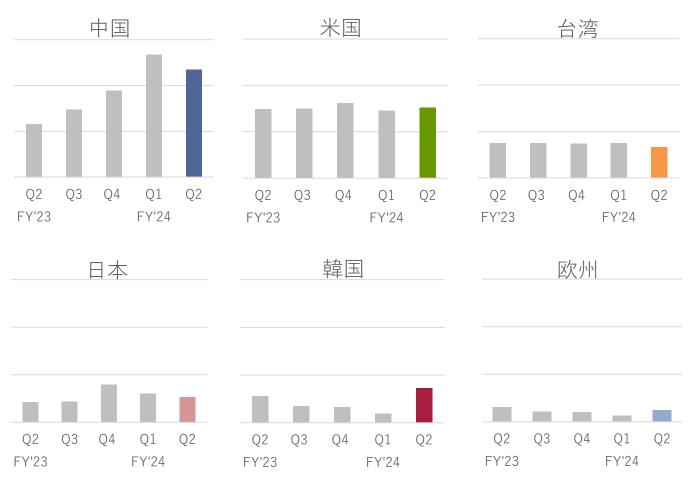
[※] 当期より「モータ制御機器」は「部品・修理 他」に含めて集計しております。

地域別売上高

■ 中国は減少ながらも堅調、韓国でFPD関連装置が増加



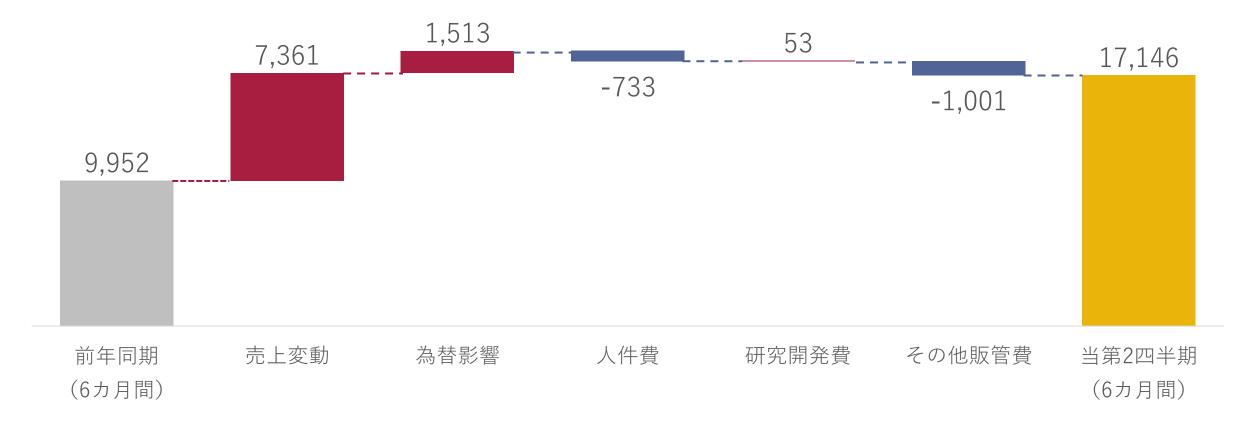
※「地域別売上高」は販売先の所在地別に集計



営業利益の増減要因 (累計期間)

■ 半導体関連装置の売上増加により増益

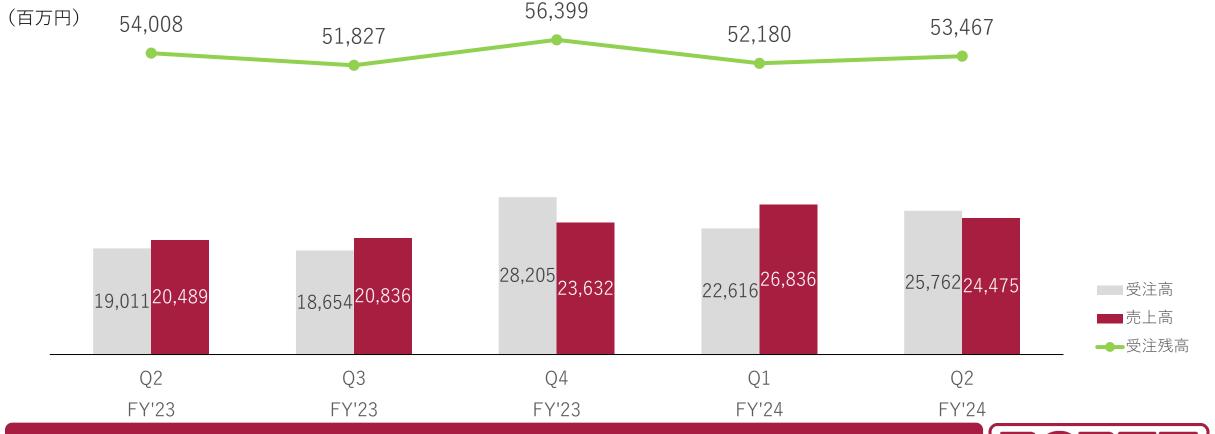
(百万円)



受注高・売上高・受注残高の推移

半導体関連装置

- ・売上高は、中国向けなどの減少によりQoQで23億円減少
- ・受注高は、中国や台湾などの主要顧客からの受注増によりQoQで31億円増加

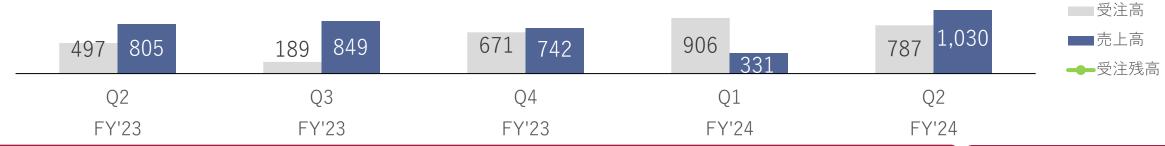


受注高・売上高・受注残高の推移

分析装置

・受注および装置納入は順調、客先での検収待ちが高水準



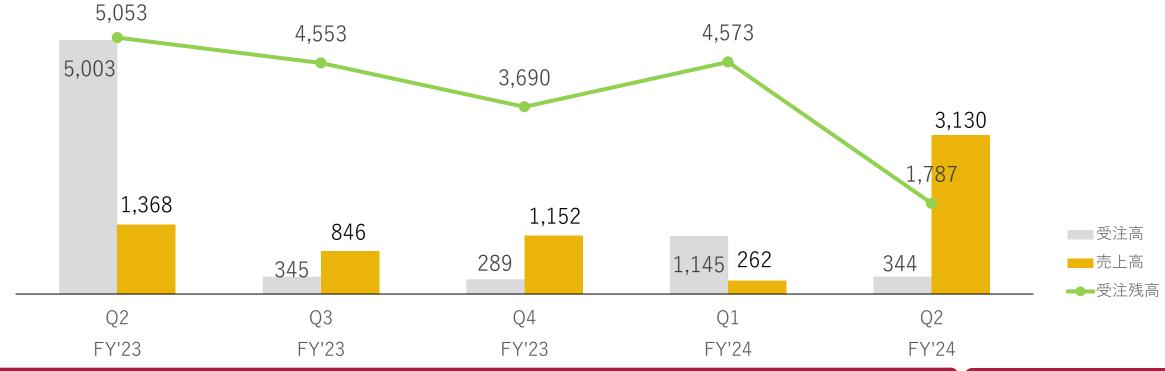


受注高・売上高・受注残高の推移

FPD関連装置

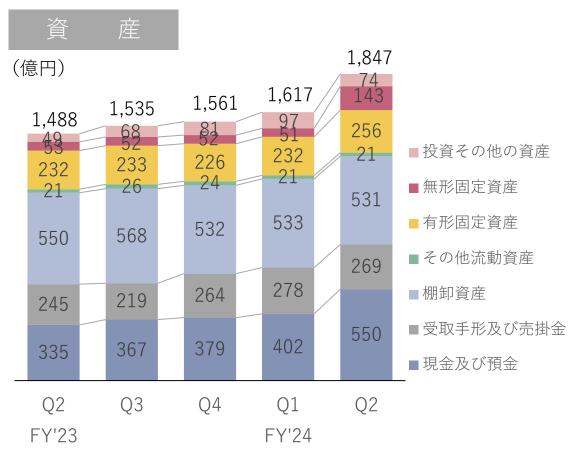
- ・売上高は、前期Q2受注分の前工程用大型搬送システム納入による増加
- ・受注高は、Q3にて韓国主要取引先からの新規受注約36億円を計上予定

(百万円)



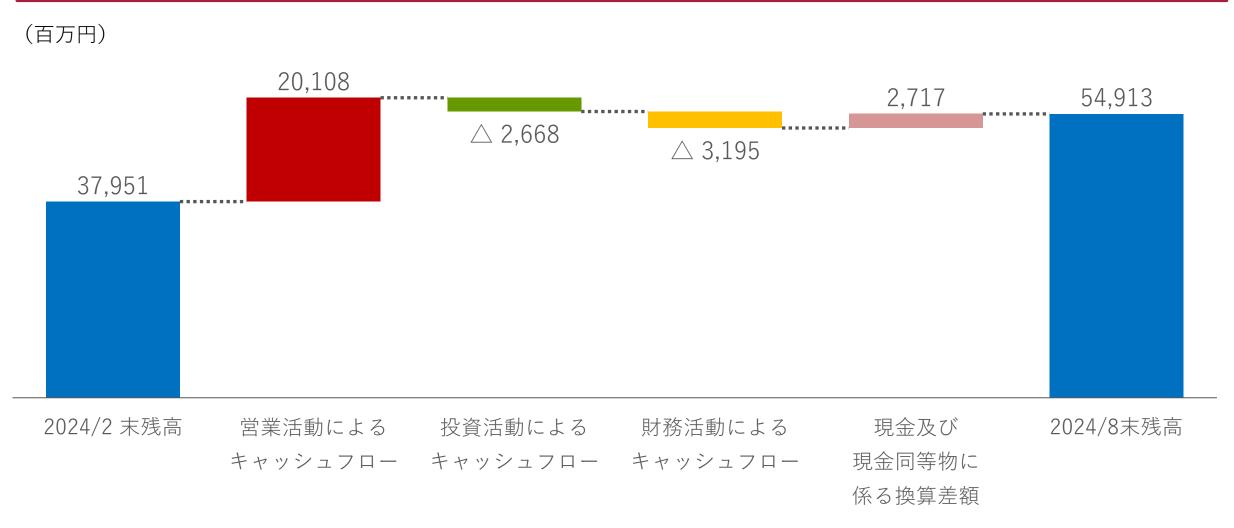
連結貸借対照表

- 現金及び預金は、売掛金の回収等による増加
- Nanoverse社の連結子会社化に伴う増加 (総資産 107億円、のれん91億円、借入金 35億円)





2025年2月期第2四半期 キャッシュ・フロー





2025年2月期(第40期) 今後の見通し

台風11号によるベトナム生産子会社の影響

被災日	2024年9月7日(土)
人的被害	従業員の被害なし
建物・生産設備等の被害状況	・被害見込額: 443百万円 (工場建物、設備および棚卸資産等) 被害見込額の大半は保険金で補償される予定 ・強風による建屋の屋根・外壁の一部剥離、雨水侵入による製品の一部損傷に対応 し、罹災建屋から生産設備を移設することで、生産再開。生産能力は復旧想定通 りに回復。 ・生産遅延は、10月上旬時点で約2週間、11月末までに解消予定

Nanoverse Technologies, Ltd.の連結子会社化

会社名(所在地)	Nanoverse Technologies, Ltd. (米国・オレゴン州)			
事業内容	半導体製造装置(レーザースクライバーおよび計測器)の開発・製造・販売			
連結子会社化の主な理由	同社のレーザー、光学およびソフトウェアの技術と当社のコア技術、サービスネットワーク および生産力などの経営資源を有効活用することにより、両社の半導体関連装置事業の更な る成長を実現する			
株式取得日	2024年6月26日 第三者割当増資引受による株式取得			
取得した議決権比率	33.0% 当社が現金を対価として株式を取得			
取得原価	70百万USD(現金) 158円/ドル換算で約110億円			
発生したのれんの金額	9,112百万円(暫定) 今後の事業展開により期待される超過収益力から発生したもの			
償却方法および償却期間	現時点では未確定(現在協議中)			
当中間連結決算処理	2024年8月31日現在 貸借対照表のみ連結、損益計算書には含まず			
連結業績予想への影響見込	下期業績への影響見込み: 約35億円(最大で のれん償却:約15億円、販管費 約20億円) ※ 現時点における次年度以降の当該会社の業績予想は以下のとおり 2026年2月期 約80億円の最終赤字 - 研究開発先行による影響を見込む 2027年2月期 約12億円の黒字転換 - 開発装置の納入による売上を見込む			

2025年2月期 業績予想に対する進捗

- 主力の半導体関連装置は、下期以降も中国、米国および台湾向け販売により堅調な推移を予測
- 為替は、上期実績で期初想定よりも円安で着地、下期は期初想定並(144円/ドル)を見込
- 主力事業の業績、為替および投資先の状況等を考慮し、通期連結業績予想に変更なし _(百万円)

	FY'24 Q2 実績	FY'24 通期予想	通期予想 進捗率(%)
売上高	60,229	120,784	49.9
半導体関連装置	51,311	102,399	50.1
分析装置	1,362	3,841	35.5
FPD関連装置	3,392	6,511	52.1
※ ライフサイエンス関連装置	334	1,300	25.7
部品・修理 他	3,828	6,732	56.9
営業利益	17,146	31,617	54.2
経常利益	20,574	31,518	65.3
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	15,850	22,916	69.2

※ 当期より「モータ制御機器」は「部品・修理 他」に含めて集計しております。



トピックス

ベトナム子会社の新工場建設

- 半導体市場の需要拡大と技術革新に対応、さらなる競争力強化と持続的成長をはかる
 - 生産能力を従来の2倍に拡大
 - 既存製品の生産キャパを増加、将来需要に対応
 - 新規開発製品の量産体制を整備
 - 製造ラインの自動化、生産効率の向上を実現
 - 開発設計能力拡大

所	f 在		地	ベトナム ハイフォン市 日本ハイフォン工業団地内 (現工場と同工業団地内)
投	資	内	姒	土地、建物、生産設備 他
土	地	面	積	約238,300 ㎡
工:	場延	床面	積	約180,000 ㎡
実	施予	定期	膃	2025年半ば〜2032年 ※段階的実施を予定 第1期:2026年春頃建設開始、2027年春頃完成目指す。その後市場動向を勘案し順次実施
投	資	総	額	約330百万USD

ローツェライフサイエンスによるジェノスタッフ社買収について

RORZE



Lifescience

100%

創薬研究・再生医療分野にて 自動細胞培養システムを導入



大学等研究機関• 製薬メーカー創薬部門



GenoStaff ジェノスタッフ株式会社

組織染色・遺伝子機能解析

関連商品・機器の販売

238百万円(2024/3期実績)

https://genostaff.com

卓越したノウハウを背景に組織染色・ 遺伝子機能解析等の研究受託



東京都文京区弥生

事業内容に関する研究受託および

2002年2月

4.200万円

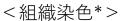
12名

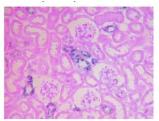
所在地

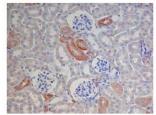
設立年月

従業員数

本 金







<機器>



自動パラフィン包埋装置 (ローツェライフサイエンス製)

創薬支援ビジネスでの相乗効果

- ・ローツェライサイエンス社施設を 利用し高信頼性の試験受託体制構築
- ・分子病理の新領域・工程自動化

*正確な組織染色は、研究成果にかかる試験結果を可視化する 手法として、論文採択等の成果判定の決め手の1つ。





参考資料

半導体関連装置



N2パージウエハストッカ

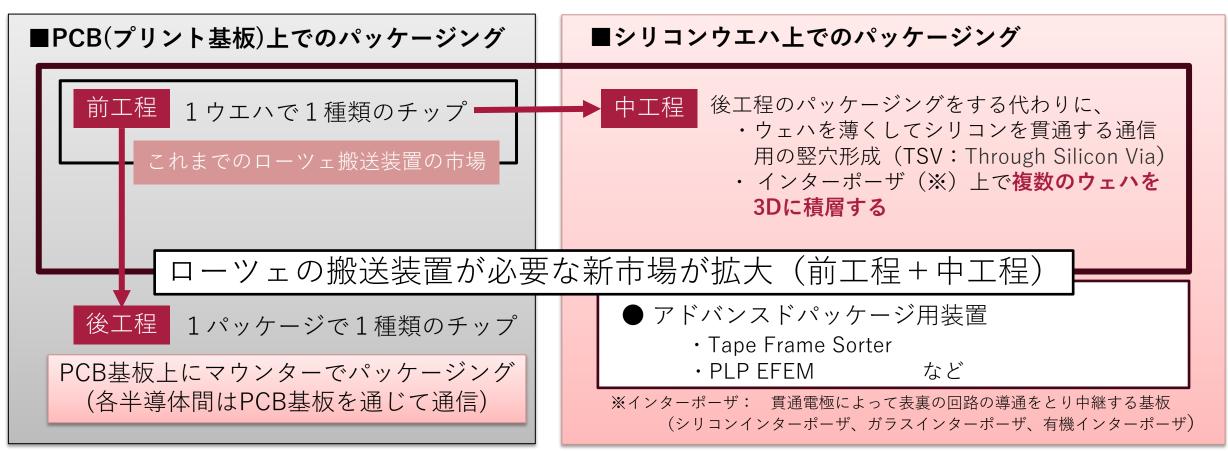
装置メーカー プロセス装置 検 査 装 置

エンドユーザー デバイスメーカー ウエハメーカー

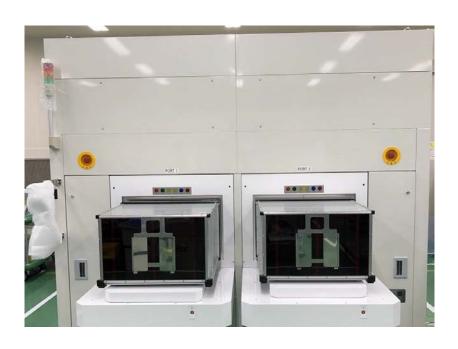
アドバンスドパッケージ用装置

アドバンスドパッケージ

より小さいフットプリントで高いデバイス密度と機能拡張を実現できるようにチップレットを接続する方法



アドバンスドパッケージ用装置



PLP用EFEM



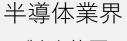


Tape Frame用ソーター

分析装置







製造装置メーカー

エンドユーザー デバイスメーカー ウエハメーカー

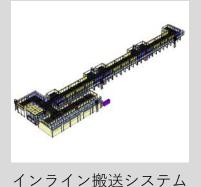
半導体業界以外

研究機関 環境計測機器 化学薬品メーカー など



FPD関連装置







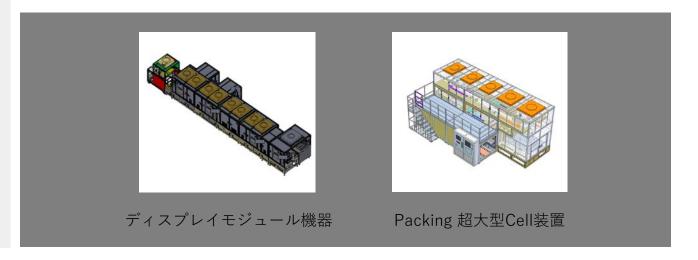


前工程:

FPDメーカー FPD用ガラスメーカー



ローツェシステムズ (韓国子会社)





後工程:

FPDメーカー

ライフサイエンス関連装置





インキュベータ SCALE48



自動培地交換機能&細胞観察 機能付きCO2インキュベータ CellKeeper® II 48Plus



モバイルロボット



全自動培地交換システム CellFarm(L)-360™



スケジューリング ソフトウェア Green Button Go ※ (※Biosero社製)



大学·製薬企業等 研究機関 再生医療関連企業



ありがとうございました

